

図 景観形成方針

水の骨格づくりは、その河川景観を適切に保全・形成することで、景観構造を明確化し、都市のイメージを創ることを目標として景観形成に取り組んでいきますが、特に岡山市内を流れる主要な河川である、旭川、吉井川、笹ヶ瀬川（三大河川）水系については、流域面積、河川緑地が大きいことから市民の憩いの空間として活用を図ります。

そのため、これら三大河川の中で、モデル性や景観づくりの効果が高く、また拠点性を持った場所について、景観形成の考え方や活用方法を図示し、水の骨格づくりの進め方を示します。

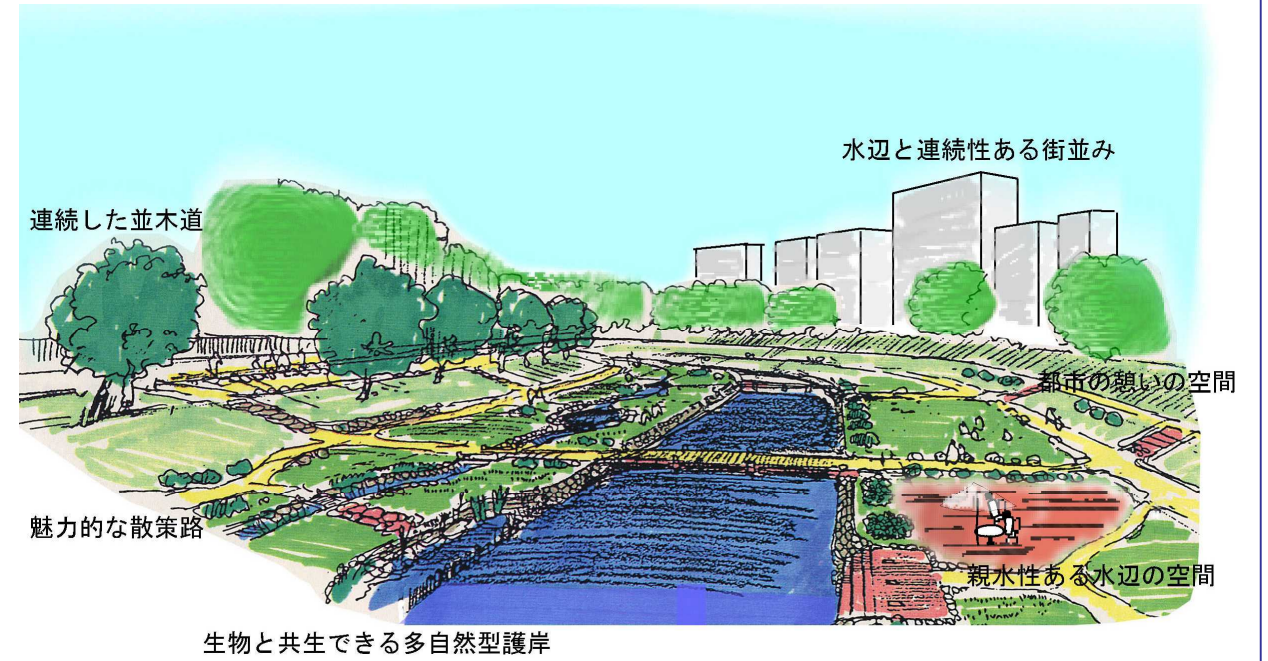
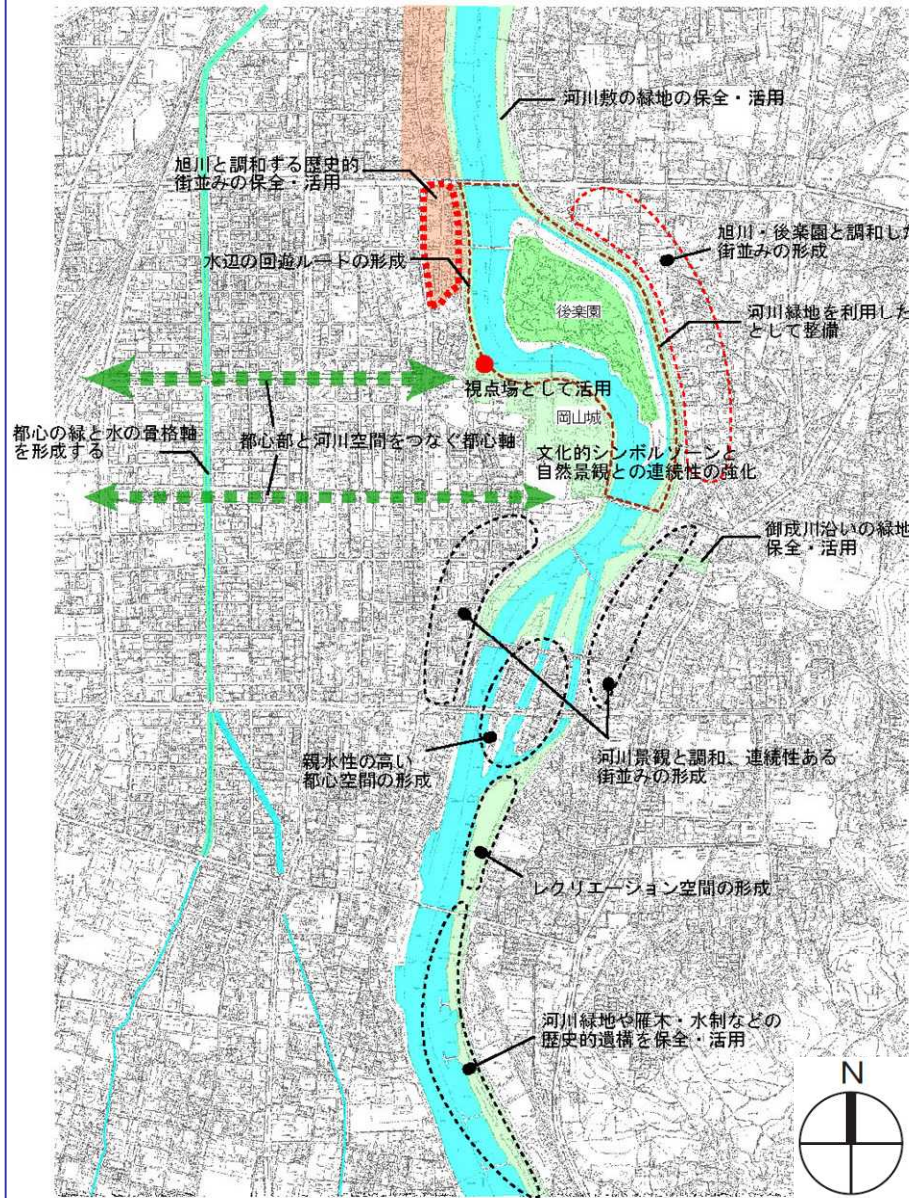
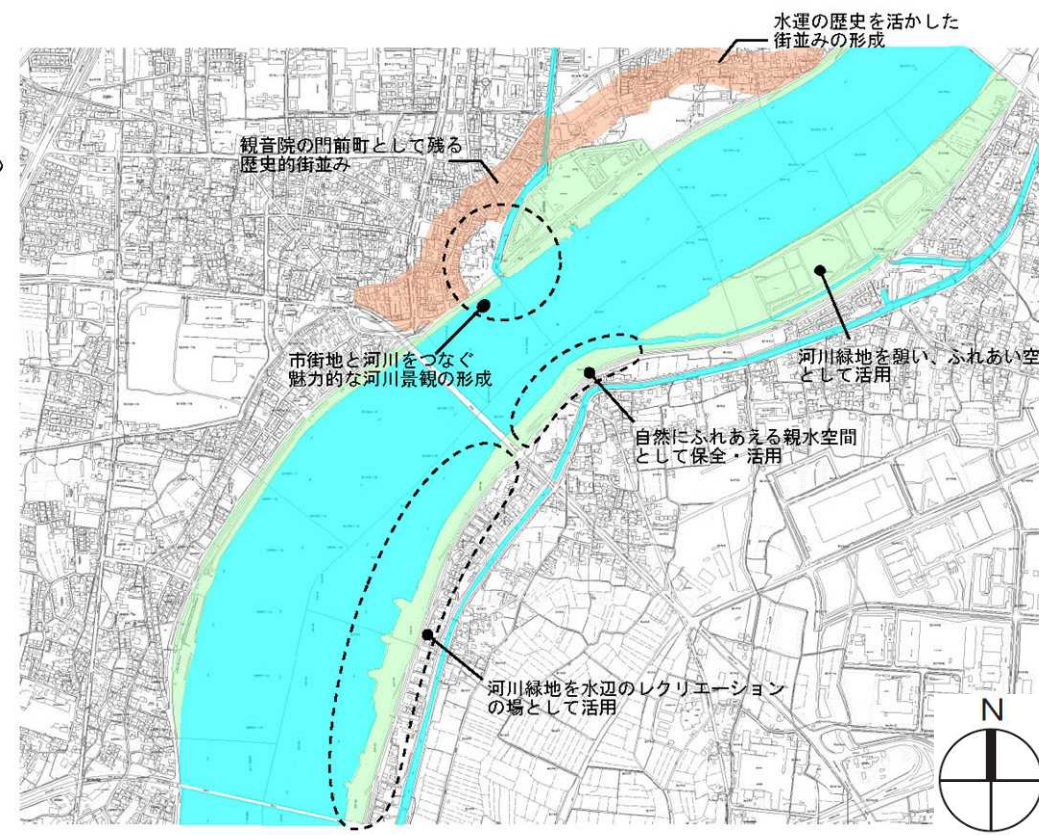


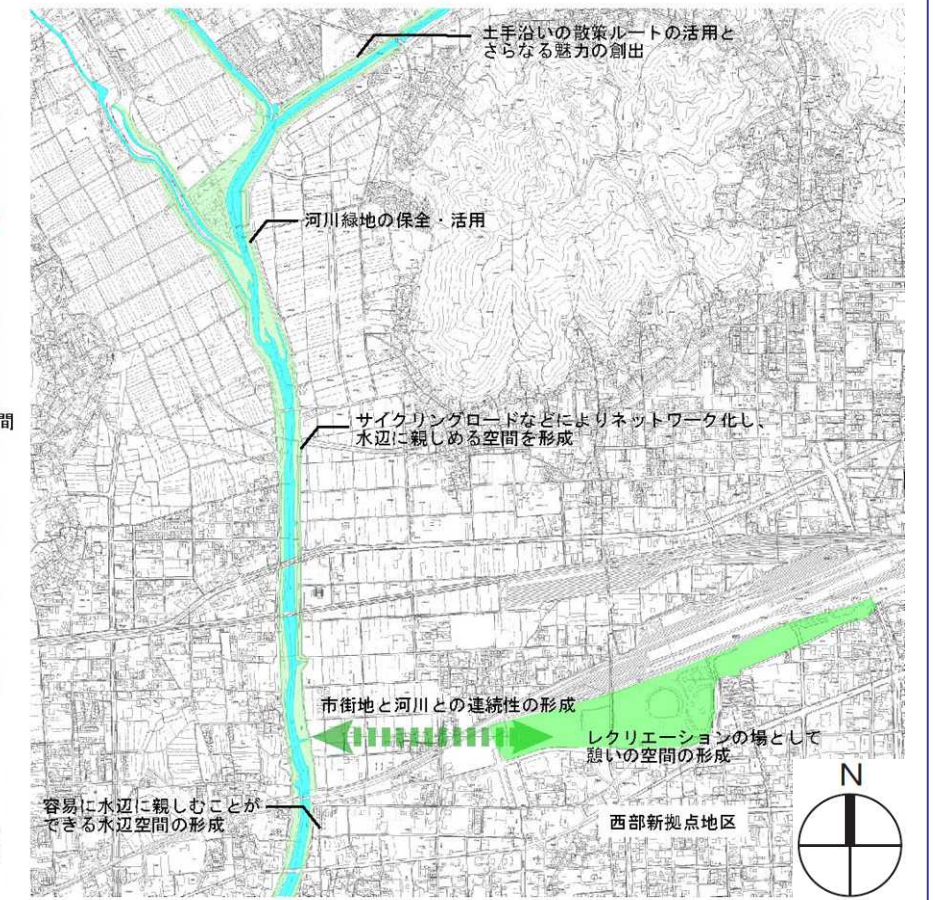
図 水の骨格づくり景観形成イメージ



<旭川における景観形成方針図>



<吉井川における景観形成方針図>



<笹ヶ瀬川における景観形成方針図>